

日頃の訓練を披露

消防団夏季点検・ポンプ操法大会

7月2日(土)富士山運動公園で、夏季点検並びにポンプ操法大会が行われました。

暑い日差しの中、グラウンドでは各部とも日頃の訓練の成果を競い合いました。操法大会の結果は下記のとおりです。

成 績

	自動車ポンプの部	小型ポンプの部
1位	第3分団第3部	第2分団第4部
2位	第1分団第1部	第1分団第4部
3位	第3分団第2部	



自動車ポンプの部で優勝した第3分団第3部

優秀選手

●自動車ポンプの部

操作員	分団・部名	氏名
指揮者	第3分団第3部	國谷 和寿
1番員	第3分団第2部	高山 喜克
2番員	第3分団第3部	小島 誠
3番員	第3分団第2部	梁島 史好
4番員	第1分団第1部	余川 俊一

●小型ポンプの部

操作員	分団・部名	氏名
指揮者	第1分団第4部	鶴見 裕一
1番員	第1分団第4部	上野 和秀
2番員	第2分団第2部	貝賀 昭男
3番員	第1分団第4部	芹沢 豊和



小型ポンプの部で優勝した第2分団第4部



自動車ポンプ操法で敬礼をする指揮者



小型ポンプ操法での放水

町消防団が県優良団体表彰受賞

6月15日(水)県総合文化センターで「県民の日記念式典」が行われ、町消防団が県各種功労者及び優良団体表彰式で、消防功労団体として表彰されました。

町消防団は、日ごろから訓練を行い火災などの災害時の活動ではいち早く現場に駆けつけ、災害活動のほかにも捜索活動など、地域に対する貢献が認められたものです。

今後も更なる活躍が期待されます。



県優良団体表彰を受賞した町消防団



質問に回答する福田知事

県ができることは全力で

とちぎ元気フォーラム in 上三川

6月19日(日)中央公民館で、「とちぎ元気フォーラム in 上三川」が開催されました。

参加者のアンケートで関心が多かった、「感染性医療廃棄物」「合併問題」「高齢化対策」を中心に質問が続出しました。

福田知事は、質問に対して「県ができることは全力で、住民の人にも手を貸してもらい力を合わせて住みやすい県にしていきたい。」と締めくくりました。

絵本を読むいいきっかけに

ブックスタート事業始まる

6月21日(火)保健センターで、ブックスタート事業が始まりました。10か月健診時に併せて、「だっこして、えほん」という小冊子を配布しました。

「だっこして、えほん」は、母子手帳と同じ大きさで、赤ちゃんに読み聞かせた絵本や聞いている様子、図書館等で開催している「おはなし会」などの参加記録などが記入できるようになっています。参加したお母さんからは、「絵本を読んであげるいいきっかけになります。」と喜びの声がありました。



絵本を見るお母さんと赤ちゃんたち



粘土作りを説明する柳澤邦夫先生

お父さんこっそり教えます

父親の家庭教育への参加を考える集い

6月25日(土)中央公民館で、父親家庭教育への参加を考える集いが開催されました。河内教育事務所ふれあい学習課の柳澤邦夫先生による「作ってあそぼう。子ども遊びのレシピ」と題して、子どもに対して優しい様々な遊びを披露しました。小麦粉と塩を利用した粘土作りは好評で、お父さんやお母さんと一緒に来ていた子どもたちは、夢中になって遊んでいました。

今後も、定期的に参加の集いを開催しますので、希望の人は中央公民館(☎⑥3510)までご連絡ください。

読み聞かせしてみませんか

ブックスタート事業養成講座

6月29日(水)図書館で、ブックスタート事業の読み聞かせボランティアの人たちを対象にした養成講座を開催しました。

特定非営利活動法人ブックスタートの佐藤いづみ氏を講師に招き、いくつかの読み聞かせの事例を挙げながら、「読み聞かせは、赤ちゃんの時期から人と人とのコミュニケーションとして重要です。」と話していました。この後数回の養成講座を受講したあと10か月児健診などで、ボランティアとして活動していきます。今後の活躍が期待されます。



佐藤いづみ氏の話聞く参加者



救急救命士に指導を受ける生徒たち

『いのち』の大切さを学ぼう

本郷中学校で普通救命講習会

6月30日(木)石橋地区消防組合上三川分署の協力により、本郷中学校2年生を対象に総合的な学習の時間の中で「生き方」をテーマに、普通救命講習会が行われました。

救命のための心肺蘇生法やAED(半自動除細動器)使用法などを、訓練用人形を使い救命の重要性を学びました。生徒たちは訓練人形に「もしもし、わかりますか。大丈夫ですか。」と真剣な表情で講習会に取り組んでいました。

青少年を非行から守る

社会を明るくする運動

7月1日(金)、社会を明るくする運動実施実行委員会主催により、石橋駅東口、カスミ、エコス、オータニで「街頭啓発」が行われ、関係各団体から85名が参加し非行防止等と呼びかけました。啓発用品を配布するとともに、7月20日・21日・22日の3日間町内3か所で「ミニ集会」が開催され、子どもの健全育成のための地域の関わり方など、熱心に話し合いがされました。



スーパー前での啓発活動



歌を聴く西汗上老人会の会員

いつまでもお元気で

西汗上公民館でお年寄りを招待

7月2日(土)西汗上公民館で「いつまでもお元気で」と題してお年寄りを招待しました。

2年に1回公民館運営委員と女性部の共催でお年寄りに、地元の人たちが舞踊や歌などを披露しました。

中には歌を口ずさんだり、手拍子をしたり、大変盛り上がりました。参加した人たちから、「たいへん楽しく、今後も続けていただきたい。」と笑顔がこぼれました。

栃木工場産カブトムシをどうぞ

子どもたちにカブトムシをプレゼント

7月13日(木)大山保育所に、日産自動車(株)栃木工場で飼育したカブトムシがプレゼントされました。昨年度より行っている事業で、100万坪の敷地内は自然が豊富で、今年ふ化したカブトムシを町内の保育所、幼稚園、また各地域の営業所に配布し、お子さん連れのお客さんにもプレゼントをしています。

大山保育所の子どもたちは、カブトムシのプレゼントに目を輝かせ、大喜びでした。



カブトムシをながめる子どもたち